

授業実践動画交流サイト(授業ラボおかやま)

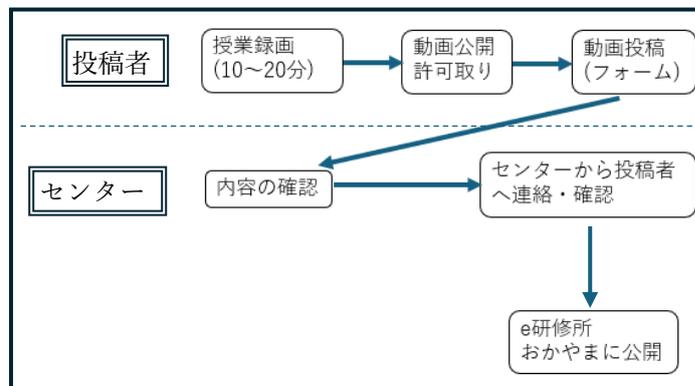
活用の手引

令和7年3月

1 動画投稿について(次頁 参照)

(1) 動画投稿手順

- ① e 研修所おかやまへログイン
- ② 総合教育センター研修講座の下部にある授業実践動画交流サイト「授業ラボおかやま」をクリック
- ③ 動画投稿フォームのリンクをクリック
- ④ 公開する授業のポイントやみてほしい視点等を記入する(投稿フォーム内)



(2) 動画について

- ・ 時間は10分~20分(目安)とする。
必要な部分のみ撮影する。必要に応じて編集をしてもよい。
※所属自治体のセキュリティポリシーを遵守し、著作権、肖像権等に配慮してください。
- ・ 動画公開について管理職に承諾を得たうえで、映っている児童生徒等への許可を取っておく。
※投稿後、必要に応じて公開前にセンターから連絡することがあります。

(3) 動画投稿期間

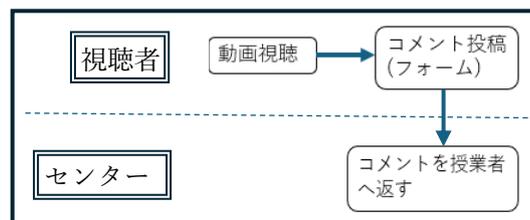
第I期 令和7年5月12日(月)~令和7年7月15日(火)

第II期 令和7年9月1日(月)~令和7年12月5日(金)

2 動画視聴・コメント投稿について(次頁 参照)

(1) 動画視聴・コメント投稿手順

- ① e 研修所おかやまへログイン
- ② 総合教育センター研修講座の下部にある授業実践動画交流サイト「授業ラボおかやま」をクリック
- ③ 授業者の視点を確認
- ④ 視聴したい動画の「受講」ボタンをクリック
- ⑤ 動画視聴後、コメントを投稿



(2) 動画視聴およびコメント投稿ができる期間

第I期 令和7年7月22日(火)~令和7年8月31日(日)

第II期 令和7年12月15日(月)~令和8年1月30日(金)

3 留意事項

- ・ 授業者へのフィードバックはコメント投稿期間終了後となります。
- ・ 公開の範囲は、県内公立学校の教職員及び、県市町村(組合)教育委員会の関係者への限定公開とします。(いずれも、岡山市を除く。)
- ・ コメントは動画投稿者が見てほしい視点を踏まえた内容としてください。
- ・ 授業者・視聴者双方の成長の機会となるよう、視聴した場合は原則コメントを投稿してください。
- ・ 全国教員研修プラットフォームへの移行に伴う動画投稿及び視聴方法の変更は、後日連絡します。

「授業ラボおかやま」動画投稿・視聴・コメント投稿について

■e 研修所おかやま (R7.04.01 ~ 08.31 掲載)

【視聴方法等】 ※e 研修所おかやま → 学校アカウントでログイン → コースを選択



● お知らせ

研修の目的
主体的・対話的で深い学びを構想するきっかけとなる場を構築することで、教職員が授業改善し、児童生徒が確かな学力をすることを目的とする。

確かな学力の育成 (学習指導要領解説「総則編」23頁より)
基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。

● コーストップ・教材一覧

受講したい教材名をクリックしてください

教材名

大変恐れ入りますが、下記のリンク先から授業動画を御提出ください。
動画投稿フォーム → <https://forms.gle/7YMeVANu6mFgbFVL7>

動画投稿 ● 事例 鏡野町立鏡野中学校
受講期間: 2024年11月7日(木) 00:00 ~ 3月31日(月) 23:59

【動画視聴の御案内】

- 下記の「受講」ボタンから授業動画を御視聴ください。
- 御視聴後、**授業者の視点**を踏まえて、以下のリンクから**コメント**をお願いいたします。

授業者の視点:
今回の授業は、「家庭学習と授業のつながり」を意識した実践を行い、導入の場面を中心に編集を行いました。家庭学習で考えてきたそれぞれの考え方を、机間指導でどの生徒がどのようなことを考えていたのかを見取り、意図的指名によって、今後の授業展開を方向付けるための時間を確保するようにしています。また、生徒は家庭学習で個人思考を行っているため、生徒同士での共有がスムーズにいくようになってるのではないかと思います。ご意見いただき、アドバイスやご意見をいただければと思います。

[授業動画のコメントはこちら](#) ← Googleフォームへのリンクです

本ページおよび関連ページに掲載の文書や画像等の無断転載を禁じます

【研修内容等の問い合わせ】
担当: 岡山県総合教育センター研修部
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川17545-11
Tel: 0866-56-9103 Fax: 0866-56-9123

【eラーニングシステムの操作・動作環境の問い合わせ】
岡山県総合教育センター研修システム管理担当
E-mail: kyoikuse13@pref.okayama.lg.jp

投稿

【動画を投稿する】※事前処理が必要

※Google フォームの内容

- ①所属校、②職名、③氏名、④動画 (1GB まで)、⑤公開する授業のポイントやどのような視点で見ているか等、その他連絡事項について

【授業者の視点を確認する】

- ・視聴の参考となる授業者の視点を記載する

視聴

【動画を視聴する】例



視聴

【授業動画のコメント入力する】

※Google フォームの内容

- ①所属校、②職名、③氏名、④参考になったところ、⑤ご自分であればこうする、⑥全体を通しての感想

視聴

【視聴後のコメントについて※掲載方法検討中】

・視聴者がコメントを入力 (Google フォーム) → センターで内容を確認 → 視聴期間終了後フィードバック

例

04 参考になったところ	05 ご自分であればこうする	06 全体を通しての感想
課題の数を少なめにされているため、生徒も課題に取り組みやすいのかと思います。課題チェックで生徒が事前に行っている課題の解法を確認しているため、よりスムーズに授業が展開していたと感じました。	出ている2つのうち、1つの方法をまず生徒に伝えさせてから他にも方法がないか考えさせる。その際に補助線をひくことでどの角度がわかり、 $\angle X$ の角度の求め方を説明させる授業へと展開したい。	授業に入る前にやる事がわかっていて、何を本時で学ぶのが明確になるところがよいところだと思います。今年度1年間通して取り組んだ成果と課題をまた教えてください。
「数学あるあるじゃん」の後、既習内容を使って考え、それを友達と話す場面で、「なるほどな」と言う生徒の声がありました。一人では気づかなかったことも、友達と話すことで気づけるのがいいなと思いました。	教材は違いますが、私もグループや友達と話すことで、「わかった!」と思えるように努めています。	森藤先生の丁寧な指導の一面が見えました。ありがとうございました。
板書が整然と書かれていて、定義は張り物を作成し、見やすく、時間短縮になり、何度も使用できる。机間指導で個別指導をしたり、全体共有させる生徒を見取ったりしている。		生徒が落ち着いていて授業に集中して取り組んでおり、他の生徒ととの話し合い活動もできている。中学生の家庭学習時間が少ないことが課題であるが、既習内容を活用させながら次の授業の内容につながる予習的課題を家庭学習で取り組ませておくことで理解に役立ち、疑問点を事前に把握できる。授業への取り組み方の喜ぶにつながるような家庭学習をさせたい。